

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年3月29日 (2018.3.29)

【公開番号】特開2016-195689(P2016-195689A)

【公開日】平成28年11月24日 (2016.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2016-065

【出願番号】特願2015-77270(P2015-77270)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月9日 (2018.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の遊技が行われる遊技領域と、
遊技者が操作可能な操作装置と、
前記遊技領域の下方で前方に膨出し、前記操作装置が配置される内部空間を形成する膨
出部と、
前記遊技領域で遊技を行うための遊技媒体が貯留される上皿と、
前記上皿の下方に配置され、遊技媒体が貯留される下皿と、
を備え、
前記下皿は前記内部空間側に窪んだ領域を有している
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

所定の遊技が行われる遊技領域と、
所定の演出効果を奏する演出装置と、
前記遊技領域の下方で前方に膨出し、前記演出装置が配置される内部空間を形成する膨
出部と、
前記遊技領域で遊技を行うための遊技媒体が貯留される上皿と、
前記上皿の下方に配置され、遊技媒体が貯留される下皿と、
を備え、
前記下皿は前記内部空間側に窪んだ領域を有している
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

この種の遊技機は、正面視における遊技領域の下方に、遊技領域内に打込むための遊技
媒体が貯留される上皿と、上皿の下側に配置され遊技媒体が貯留される下皿とを備えてい
る（例えば、特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような遊遊技媒体を貯留する皿を備える遊技機においては、皿としての機能を実現するうえでより好適なものが求められている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、遊技機においてより好適な下皿の構成を提案するものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、

所定の遊技が行われる遊技領域と、

遊技者が操作可能な操作装置と、

前記遊技領域の下方で前方に膨出し、前記操作装置が配置される内部空間を形成する膨出部と、

前記遊技領域で遊技を行うための遊技媒体が貯留される上皿と、

前記上皿の下方に配置され、遊技媒体が貯留される下皿と、

を備え、

前記下皿は前記内部空間側に窪んだ領域を有している

ことを特徴とする遊技機。

また、本発明は、

所定の遊技が行われる遊技領域と、

所定の演出効果を奏する演出装置と、

前記遊技領域の下方で前方に膨出し、前記演出装置が配置される内部空間を形成する膨出部と、

前記遊技領域で遊技を行うための遊技媒体が貯留される上皿と、

前記上皿の下方に配置され、遊技媒体が貯留される下皿と、

を備え、

前記下皿は前記内部空間側に窪んだ領域を有している

ことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、見た目以上に下皿内に多くの遊技球を貯留させることができる。